No.6 July. 2000

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学

第６号

Newsletter No.6, Center for Education and Research of Lifelong Learning

地域への大学開放を進めるために

静岡大学生涯学習教育研究センター長　滝　欽二

文部省の資料（平成10年度）によれば、生涯学習教育研究センターを設置している全国の国公立・私立大学（短大を除く）は、142大学にものぼっています。

国立大学に限れば、平成11年度に設置された１校を加えると、現時点で21大学に設置されている状況にあります。大学開放の窓口としての役割を担うべく、近年、全国各地に積極的に開設されていることを示しています。

ご承知のように、静岡大学には、平成９年度に、国立大学第15番目の施設として本センターが設置され、本年度は、４年目を迎えました。この間、歴代のセンター長、センター専任教官をはじめとして、学内の委員の皆様により、公開講座をはじめとする大学開放にかかわる様々な事業活動や、社会教育主事講習、さらには生涯学習関連の教育研究が進められてまいりました。それらの成果は、当センター発行の研究紀要「生涯学習教育研究」や広報誌「地域と大学」に報告されているところであります。

私は、この４月より本生涯学習教育研究センターの第３代センター長を務めることとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度は、本センターの過去３年間の実績と経験を踏まえて、さらに積極的な大学開放を進めるべく、広報活動に主眼を置いて、地域との結びつきを強めたいと考えています。

公開講座の充実や公開シンポジウム、調査研究などの諸事業の推進とともに、各事業の地域への広報活動もまた大切なことだと思っております。

地域と大学をより一層強く結ぶために、どうぞ皆様のご協力、ご支援ならびにご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

センター長室の日本画「風韻」（静岡市在住の寺尾かつ子様（写真）から平成12年３月21日寄贈）

平成12年度 静岡大学公開講座のお知らせ

今年度の静大公開講座は、９月９日から10月28日にかけて以下の６会場で実施されます。

なお昨年度からこの公開講座は、生涯学習教育研究センターの委員会である公開講座委員会が主として運営に携わっています。募集は各会場毎です。

	静　岡　会　場	浜　松　会　場	清　水　会　場
講座名称	豊かさを問う―未来への発信	湖とヒトとの共生	遺伝子技術と社会
共催・後援	静岡市教育委員会（共催）	浜松市教育委員会（後援）	清水市教育委員会（共催）
会　　場	アイセル21（静岡市中央公民館）	静岡大学工学部（佐鳴会館）	清水市中央公民館
開催時間帯	火曜日　18時30分～20時30分	土曜日　14時00分～16時00分	土曜日　14時00分～16時00分
受付期間	８/21(月)～９/１(金)	８/28(月)～９/８(金)	８/21(月)～９/１(金)
受付場所	〒422-8529 静岡市大谷836 静岡大学研究協力課	〒432-8561 浜松市城北3-5-1 静岡大学（工学部内）研究協力課	〒424-0836 清水市桜が丘町7-1 清水市中央公民館
連絡先	TEL 054-238-4264	TEL 053-478-1002	TEL 0543-54-1321
開催日と講義題目及び講師	９/19(火) 「飽食時代と健康」 国立東静病院長　倉持衛夫 ９/26(火) 「経営における情報の高度化の功罪」 人文学部助教授　伊東暁人 10/３(火) 「経済大国はどこへ行く？」 人文学部教授　高橋洋児 10/10(火) 「環境と食糧」 農学部助教授　早津雅仁 10/17(火) 「豊かな社会の不平等―教育を受けるチャンスは万人に開かれているか」 教育学部助教授　橋本健二	９/23(土) 「浜名湖の自然史」 理学部教授　池谷仙之 ９/30(土) 「浜名湖をめぐるヒトの歴史」 人文学部教授　本多隆成 10/14(土) 「浜名湖の水」 理学部教授　和田秀樹 10/21(土) 「琵琶湖の環境変化と再生」 滋賀大学教授　遠藤修一 10/28(土) 「湖の環境保全と浜名湖のこれから」 東京大学助教授　岡本　研 理学部教授　池谷仙之	９/16(土) 「生物と遺伝子」 理学部助教授　山内清志 ９/30(土) 「病気と遺伝子」 理学部講師　鈴木雅一 10/７(土) 「バイテク革命と人間の未来」 人文学部教授　松田　純 10/14(土) 「遺伝子技術の今」 理学部教授　吉永光一 10/21(土) 「遺伝子組換え体農作物は安全か」 遺伝子実験施設長　露無慎二

	沼　津　会　場	熱　海　会　場	浜　北　会　場
講座名称	豊かさを問う―未来への発信	遺伝子技術と社会	21世紀のライフプラン
共催・後援	沼津市教育委員会（共催）	熱海市教育委員会（共催）	浜北市教育委員会（共催）
会　　場	沼津市民文化センター	熱海市中央公民館いきいきプラザ	浜北市文化センター
開催時間帯	土曜日　14時00分～16時00分	土曜日　14時00分～16時00分	土曜日　14時00分～16時00分
受付期間	８/28(月)～９/８(金)	８/14(月)～８/25(金)	８/21(月)～９/１(金)
受付場所	〒410-0881 沼津市八幡町97 沼津市教育委員会生涯教育課	〒413-0015 熱海市中央町1-25 熱海市中央公民館	〒434-0038 浜北市貴布祢291-1 浜北市教育委員会生涯学習課
連絡先	TEL 0559-51-3420	TEL 0557-82-1271	TEL 053-586-6200
開催日と講義題目及び講師	９/23(土) 「豊かな社会の不平等―教育を受けるチャンスは万人に開かれているか」 教育学部助教授　橋本健二 ９/30(土) 「飽食時代と健康」 国立東静病院長　倉持衛夫 10/14(土) 「経済大国はどこへ行く？」 人文学部教授　高橋洋児 10/21(土) 「環境と食糧」 農学部助教授　早津雅仁 10/28(土) 「経営における情報の高度化の功罪」 人文学部助教授　伊東暁人	９/９(土) 「生物と遺伝子」 理学部助教授　山内清志 ９/16(土) 「遺伝子技術の今」 理学部教授　吉永光一 ９/30(土) 「バイテク革命と人間の未来」 人文学部教授　松田　純 10/７(土) 「病気と遺伝子」 理学部講師　鈴木雅一 10/14(土) 「遺伝子組換え体農作物は安全か」 遺伝子実験施設長　露無慎二	９/16(土) 「福祉社会の課題」 人文学部助教授　南山浩二 ９/30(土) 「男女平等社会をつくる」 情報学部助教授　笹原　恵 10/７(土) 「地域づくりとボランティア」 人文学部教授　小櫻義明 10/14(土) 「生涯学習とライフプラン」 生涯学習教育研究センター助教授 阿部耕也 10/21(土) 「生きがいと共感を求めて」 人文学部助教授　上利博規

・各会場とも募集人数は60人。
・各会場とも講習料は5,500円（全日程）。
なお、いったん納入された講習料は、受講できなくなった場合でも返金できません。
・第１日は開始15分前に開講式が、また第５日は、講義終了後に閉講式が行われます。
・受講申込は、各開催会場などへ直接講習料を添えて受付期間内に申込み下さい。
・郵送される場合は、講習料を郵便為替又は現金書留とし、返信用封筒を添えること。
受講者は附属図書館が利用できます。

平成12年度 本センター運営委員会・公開講座委員会の組織

今年度の生涯学習教育研究センター運営委員会・公開講座委員会の委員の方々は以下のとおりです。

○運営委員会の組織（◎印　委員長）

◎滝	欽二	センター長
小林	良孝	人文学部助教授
橋本	健二	教育学部助教授
笹原	恵	情報学部助教授
三重野	哲	理学部教授
吉田	弘	工学部教授
徳山	真治	農学部助教授
栞原	弘	電子科学研究科教授
福田	安生	電子工学研究所教授
柴垣	勇夫	センター教授
阿部	耕也	センター助教授

○公開講座委員会の組織（◎印　委員長）

◎滝	欽二	センター長
岩井	淳	人文学部教授
橋本	健二	教育学部助教授
笹原	恵	情報学部助教授
三重野	哲	理学部教授
小野	仁	工学部助教授
大石	惇	農学部教授
中西	洋一郎	電子工学研究所教授
柴垣	勇夫	センター教授
阿部	耕也	センター助教授

センター教育研究担当教官の選任

今年３月に定年退官された大堀哲・教育研究担当教官（情報学部教授）の後任に、この４月から教育学部の高橋洸治教授が選任されました。今年度から中井弘和副学長とお二人に教育研究担当教官としてセンター事業推進にご協力いただくこととなりました。

公開講座「20世紀とは何だったか」後期日程あと３回となる

本学開学50周年記念静岡新聞社・SBS静岡放送文化スペシャル公開講座「20世紀とは何だったか」は後期日程９回分が昨年８月29日から始まっていますが、あと３回を残すだけとなりました。

毎回350名以上の参加者で、盛況です。2001年直前まで、以下の日程です。

なお、すでに申し込みは締切られていますが、毎回終了後の２週あと前後の日曜日、静岡新聞にその内容が掲載され、SBS静岡放送で放送されています。

会　　場：しずぎんホール「ユーフォニア」
開講時間：13:30～15:30

⑦2000. 8. 19(土)「20世紀は科学の時代」
理学部　天岸祥光教授ほか

⑧2000. 10. 21(土)「舞台は地球、テーマは人類」
（国際化時代の静岡と世界）
人文学部小櫻義明教授ほか

⑨2000. 12. 16(土)「ともに21世紀の扉を開けよう」
佐藤博明学長ほか

生涯学習教育研究センター事業の開催

平成12年度の生涯学習教育研究センター主催事業は、７月から２月にかけて計画いたしておりますが、「博物館と大学を結ぶ」公開シンポジウムを７月１日に実施いたしました。報告者等は以下のとおりで、社会教育施設でのボランティアの事例を報告いただき、大学での博物館教育と現場での社会教育のあり方を探る討論が活発にされました。また秋には学外公開シンポジウムを開催することとなりました。（柴垣）

○「博物館と大学を結ぶ」第３回公開シンポジウム

テーマ：『博物館とボランティア』

開催日時：平成12年７月１日㈯　13:00～16:30
会　　場：静岡大学・大学会館ホール
基調講演：名古屋市美術館学芸課主査　神谷　浩氏
事例報告：愛知県陶磁資料館学芸部長　浅田員由氏
　　静岡県立美術館主任学芸員　飯田　真氏
　　静岡市立登呂博物館学芸員　浅野　毅氏
　　静岡市立日本平動物園主事・学芸員　佐渡友陽一氏
　　細江町立姫街道歴史民俗資料館学芸員　栗原雅也氏
討論・質疑：講師全員
司　会：生涯学習教育研究センター教授　柴垣勇夫
参加者：教職員、学生、博物館関係者、ボランティア等110名

「博物館とボランティア」公開シンポジウム会場風景

○生涯学習指導者研修事業

８月３・４日、静岡県公民館連絡協議会との共催事業で、生涯学習指導者研修事業（公民館主事等研修）を実施します。

テーマ：『生涯学習社会の構築』

日　時：平成12年８月３日㈭、４日㈮
場　所：静岡市油山　元湯館
講師等：角替弘志、宇河雅之、菅野文彦、熊野善介先生ほか

○生涯学習教育研究センター主催学外公開シンポジウムの開催

テーマ：『長寿社会をよりよく生きる』

日　時：平成12年11月11日㈯　13:00～15:00
場　所：静岡市鷹匠３－６　もくせい会館
講師・パネラー予定者
　星　　猛　しずおか健康長寿財団理事長
　林　のぶ　元静岡県女性総合センター所長
　石川憲彦　静岡大学保健管理センター所長
司　会：中井弘和静岡大学副学長（センター教育研究担当教官）

研究紀要「生涯学習教育研究」への投稿募集

生涯学習教育研究センターでは、研究紀要掲載の論文を募集しています。以下の投稿規程により全学からの応募を期待します。奮って投稿下さい。

1）生涯学習・社会教育関連の理論的・実証的研究に関する未発表の学術論文等を掲載。
2）投稿資格は、本学及び共同教育研究施設の教職員、センター研究員等。
3）投稿原稿量は、Ａ４判46字×40行で16ページ。
4）投稿期限は、毎年11月末日。年１回３/31発行。

生涯学習教育研究センターのホームページアドレスは、http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/です。

（阿部）

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座実施情報、大学開放事業などをこのニュースレターに掲載し、広報します。最近の計画、将来計画をセンターまでお寄せ下さい。TEL/FAX 054-238-4817がセンター資料室・受付です。

地域と大学　第6号
静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌
平成12年７月31日発行
〒422-8529 静岡市大谷836（理学部Ｂ棟１階）
静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL 054-237-1111㈹
TEL/FAX
054-238-4817（資料室・受付）
事務局　静岡大学研究協力課共同施設係　TEL054-238-4264